

(様式第9)

東北病医第306号
平成21年10月2日

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

東北大学病院長
里 見

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成 年度の業務に関して報告します。

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	26,58 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	348人	202人	545.0人	看護業務補助	73人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	人	人	理学療法士	18人	臨床検査技師	85人
薬剤師	76人	1人	76.7人	作業療法士	5人	衛生検査技師	3人
保健師	人	人	人	視能訓練士	10人	その他	人
助産師	67人	1人	67.7人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	945人	21人	959.4人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	13人
准看護師	5人	1人	5.7人	栄養士	人	その他の技術員	95人
歯科衛生士	人	人	人	歯科技工士	人	事務職員	255人
管理栄養士	9人	0人	0.0人	診療放射線技師	56人	その他の職員	39人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	988 人	24 人	1,012人
1日当たり平均外来患者数	2,176 人	1 人	2,177人
1日当たり平均調剤数		1,196	剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、視血の手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	19人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 先進医療で上の表にあげられていないもの
先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類 (医科)	承認	取扱い患者数
肺癌患者検体のEGFR遺伝子変異検索に関する研究	無	103人
大量出血を伴う手術の麻酔管理	無	40人
乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	無	37人
軟骨部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHによる悪性遺伝子検査	無	60人
覚醒下脳外科手術	無	7人
18FフルオロデオキシグルコースによるPET検査	無	3,425人
高精度生体計測法 (超音波生体顕微鏡) : 動脈硬化症および血管炎における動脈壁内部の組織ならびに機能変化の非侵襲的高精度計測	無	200人
内視鏡的胆管結石除去術	無	49人
超音波内視鏡検査	無	525人
体外衝撃波による膵石粉碎術	無	8人
内視鏡的粘膜切開剥離法	無	189人
高度進行肝細胞癌に対する集学的動注化学放射線療法	無	5人
肝癌に対する動脈塞栓下経皮的ラジオ波焼灼療法	無	50人
肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	無	70人
自己血回収器具を用いた術中自己血回収	無	209人
マイクロサージェリーを利用した各種血管付自家・複合組織移植	無	101人
組織拡張器による再建手術	無	2人
Nuss法による漏斗胸手術	無	6人
手の先天異常に対する手術加療	無	11人
切断指・肢再接合術	無	5人
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	無	113人

先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
唇顎口蓋裂による上顎低形成に対する顎矯正手術	無	16人
高度上顎低形成患者に対する上顎仮骨延長術による治療	無	8人
片側小顔面症に対する下顎枝仮骨延長術	無	1人
気道狭窄に対する内ステント留置術	無	3人
婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	無	47人
自家末梢血幹細胞移植術	無	8人
自家末梢血幹細胞移植術（採取・調整・保存）	無	5人
自家末梢血幹細胞移植術（分離・調整・保存）	無	10人
前立腺癌に対する強度変調放射線療法（IMRT）	無	33人
直線加速器による定位放射線治療	無	26人
強度変調照射法（IMRT）	無	38人
埋込型カテーテル・アクセスを用いた局所持続動注療法	無	5人
悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	無	42人
遠隔病理診断（テレパソロジー）	無	229人
質量分析装置を用いた薬物動態解析（免疫抑制剤シロリムスの副作用）	無	2人
狭心症に対する体外衝撃波治療法	無	2人
急性心筋梗塞に対する体外衝撃波治療法	無	2人
下肢閉塞性動脈硬化症に対する体外衝撃波治療法	無	13人
精神病発症危険群に対する早期介入	無	60人
骨格筋電気刺激による筋力増強トレーニング	無	4人
放射免疫療法	無	2人
同種造血幹細胞移植	無	28人
WT1ペプチドワクチン治療	無	10人
腹腔鏡下膵体尾部切除術	無	1人

先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合	無	1人
血管腫硬化療法	無	16人
一絨毛膜双胎に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術	無	4人
近赤外線スペクトロスコピー（NIRS）を用いた精神科補助診断	無	10人
腸管不全症例に対する小腸移植	無	5人
腸管不全に対する多角的治療	無	7人
同種末梢血幹細胞移植術（分離・調整・保存）	無	6人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	109人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	137人
・多発性硬化症	198人	・ウェゲナー肉芽腫症	13人
・重症筋無力症	184人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	138人
・全身性エリテマトーデス	481人	・多系統萎縮症	65人
・スモン	5人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	59人	・膿疱性乾癬	17人
・サルコイドーシス	256人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	73人	・原発性胆汁性肝硬変	102人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	232人	・重症急性膵炎	5人
・特発性血小板減少性紫斑病	122人	・特発性大腿骨頭壊死症	83人
・結節性動脈周囲炎	55人	・混合性結合組織病	52人
・潰瘍性大腸炎	531人	・原発性免疫不全症候群	29人
・大動脈炎症候群	83人	・特発性間質性肺炎	80人
・ビュルガー病	42人	・網膜色素変性症	164人
・天疱瘡	35人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	156人	・原発性肺高血圧症	48人
・クローン病	420人	・神経線維腫症	37人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・悪性関節リウマチ	17人	・バンド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	7人
・パーキンソン病関連疾患	283人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	28人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	9人
・後縦靭帯骨化症	47人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	5人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	345		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	38 例	剖検率 6.1 %

(様式第11-1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
低出力体外衝撃波を用いた慢性心不全に対する非侵襲性治療法の開発	伊藤健太	医学系研究科循環器先端医療開発学	千円 1,950	(補) 日本学術振興会 委
イオン輸送体の機能発現規定因子の同定とその制御機構による高血圧の新たな治療法	種本雅之	腎高血圧内分泌科	千円 2,990	(補) 科学研究費補助金 日本学術振興会 委
悪性リンパ腫に対する免疫化学療法の最適化による新たな標準的治療の確立	石澤 賢一	血液免疫科	千円 1,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
間葉系細胞を用いた再生不良性貧血に対する細胞療法の開発	張替 秀郎	血液免疫病学分野	千円 2,000	(補) 科学研究費補助金 委
細胞膜トランスポーターの定量解析を基盤とした造血器腫瘍に対する個別療法の確立	張替 秀郎	血液免疫病学分野	千円 8,000	(補) 科学研究費補助金 委
制御性T細胞による樹状細胞の機能抑制における責任遺伝子の同定と臨床応用	大西 康	血液免疫科	千円 900	(補) 科学研究費補助金 委
平成20-22年度 基盤研究(C) 一般(20591945) 産婦人科学 「メタボリックシンドロームからみた子宮筋腫に対する新しい治療戦略」	武田卓	先進漢方治療医学講座	千円 3,500	(補) 日本学術振興会 委
「メタボリックシンドロームからみた子宮筋腫に対する新しい治療戦略」	武田卓	先進漢方治療医学講座	千円 500	(補) 沖中記念成人病研究所研究助成基金 委
思春期過敏性腸症候群の発症因子と長期予後に関する前向き調査	遠藤由香	診療内科	千円 1,300	(補) 科学研究費補助金 委
ヒスタミン拮抗薬d-マレイン酸クロルフェニラミンの過敏性腸症候群への効果の検討	相模泰宏	診療内科	千円 1,430	(補) 科学研究費補助金 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
「ストレス性下痢」一治療の新展開	町田貴胤	診療内科	千円 1,950	補 科学研究費補助金 委
摂食障害の疫学、病態と診断、治療法、天気と予後に関する総合的研究	本郷道夫	診療内科	千円 600	補 厚労省班会議 委
JACCRO GC05 初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法-CPT-11単独療法VS TS-1+CPT-11併用化学療法の無作為化比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験	石岡千加史 他	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 1,625	補 特定非営利活動法人 日本がん臨床試験 推進機構 (JACCRO) 委
医薬開発統括学術分野創生と人材育成拠点 今井 潤	石岡千加史 下平秀樹	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 500	補 21世紀COEプログラムCRESCENDO 委
クルクミン類縁体の新規作用機作研究	柴田浩行	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 550	補 (株)セラバリユース 委
新規クルクミン類縁体を用いた新しい多発性骨髄腫の薬物療法の開発の研究に対する助成	柴田浩行 他	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 1,500	補 国際骨髄腫財団 堀之内朗記念研究 委
乳癌の患者の予後判定のための遺伝子検査方法の開発	石岡千加史 他	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 495	補 ファルコバイオシステムズ総合研究所 委
新規クルクミン誘導体による浸潤能、転移能抑制活性に基づいた体に優しい抗癌剤の治療の開発	石岡千加史 柴田 浩行	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 500	補 財団法人宮城県予防医学協会 委
非侵襲性微小組織診断システムの導入による糖尿病治療のメディカルイノベーション	里見 進 (代表者)	移植・再建・内視鏡外科	千円 12,300	補 文部科学省(日本 学術振興会) 委
血栓組織化促進による大動脈瘤破裂の治療	佐藤 成 (代表者)	移植・再建・内視鏡外科	千円 2,000	補 文部科学省(日本 学術振興会) 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
CdSeナノクリスタルを用いた食道癌組織のリアルタイムイメージング	亀井 尚 (代表者)	移植・再建・内視鏡外科	千円 1,100	補 文部科学省 (日本学術振興会) 委
実学的医工学教育・研究拠点育成	里見 進 (代表者)	移植・再建・内視鏡外科	千円 79,389 (間接経費を含む)	補 厚生労働省 委
新規血管新生阻害因子Vasohibinの子宮内膜癌における臨床応用の検討	吉永 浩介	産婦人科	千円 500	補 文部科学省科学研究費 委
男性不妊とART後の流産におけるインプリント遺伝子のDNAメチル化の解析	鈴木 史彦	産婦人科	千円 900	補 文部科学省科学研究費 委
微小環境を含んだ乳癌および子宮体癌におけるエストロゲンシグナル活性化機構の解析	松本 光代	産婦人科	千円 1,000	補 文部科学省科学研究費 委
ケモカイン遺伝子のRNA干渉による子宮癌リンパ節転移のリアルタイム解析	新倉 仁	産婦人科	千円 1,100	補 文部科学省科学研究費 委
骨盤自律神経節マッピングに基づいた神経温存術式の開発	永瀬 智	産婦人科	千円 800	補 文部科学省科学研究費 委
妊娠母体血管の内皮機能と弾性変化からみる子宮内環境悪化とその修復の可能性	千坂 泰	産婦人科	千円 1,400	補 文部科学省科学研究費 委
アンドロゲンシグナリング修飾による精子成熟機構の解析	鈴木 吉也	産婦人科	千円 1,400	補 文部科学省科学研究費 委
新たな内分泌治療薬開拓に向けたエストロゲン受容体標的遺伝子の同定と機能解析	宇都宮 裕貴	産婦人科	千円 1,300	補 文部科学省科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
着床前診断におけるヒト割球除去が次世代に与える影響の検討	寺田 幸弘	産婦人科	千円 1,500	補 文部科学省科学研究費 委
生殖補助医療（ART）に用いる乏精子症患者精子のゲノムインプリントの解析	林 千賀	産婦人科	千円 1,350	補 文部科学省科学研究費 委
癌の転移制御に向けた、子宮肉腫をモデルとする上皮間葉移行関連遺伝子の探求	豊島 将文	産婦人科	千円 1,350	補 文部科学省科学研究費 委
ヒト・トロフォブラスト幹（TS）細胞を用いた胎盤分化過程における分子機構の解明	齋藤 昌利	産婦人科	千円 1,350	補 文部科学省科学研究費 委
母体栄養障害による胎児脳の成人疾患へのプログラミングとその解除に関する実験的研究	岡村 州博	産婦人科	千円 3,300	補 文部科学省科学研究費 委
網羅的エピゲノム解析技術システムを用いた卵巣癌化機構の解明について	有馬 隆博	産婦人科	千円 3,600	補 文部科学省科学研究費 委
小胞輸送分子 Hrs-koマウスを用いた、ユビキチンを癌治療標的とする基礎的研究	八重樫 伸生	産婦人科	千円 5,900	補 文部科学省科学研究費 委
精子星状体機能不全に対する治療法の開発	村上 節	産婦人科	千円 1,100	補 文部科学省科学研究費 委
メタボリックシンドロームと子宮内膜癌；PPAR γ リガンドによる内分泌治療の有効性	伊藤 潔	産婦人科	千円 1,000	補 文部科学省科学研究費 委
卵巣癌患者における癌幹細胞の同定法の確立と、その治療応用に向けた戦略的機能解析	八重樫 伸生	産婦人科	千円 900	補 文部科学省科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
光受容体メラノプシンを制御する光フィルターを用いた早産児発達障害を予防する次世代人工保育器の開発	太田 英伸	産婦人科	千円 14,500	補 厚生労働省科学研究費 委
早期介入に向けた早期精神病の病相特異的病態の解明：脳構造、認知機能、症候学の検討	松本和紀	精神科	千円 1,820	補 文部科学省 科学研究費補助金 委
早期精神病の予防、早期治療および病態解明に関する臨床的研究	松岡洋夫	精神神経学分野	千円 4,000	補 厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費 委
思春期精神病理の疫学と精神疾患の早期介入方策に関する研究	松本和紀	精神科	千円 500	補 厚生労働省 科学研究費補助金 委
社会認知の包括的な評価方法の確立に関する臨床研究（松岡洋夫）	松岡洋夫	精神神経学分野	千円 1,700	補 文部科学省 科学研究費補助金 委
光受容体メラノプシンを制御する光フィルターを用いた早産児発達障害を予防する次世代人工保育器の開発	太田英伸	周産母子センター	千円 39,000	補 平成20年度 厚労科研費（医療技術実用化総合研究事業） 委
人工胎盤装置に応用できる膜型人工肺の開発	松田 直	周産母子センター	千円 2,000	補 平成20年度 シーズ発掘試験（発掘型） 委
人工胎盤を開発するためのヒツジ胎仔を用いた基礎的検討	三浦雄一郎	周産母子センター	千円 1,100	補 平成20年度 科研費 若手研究（B） 委
偏光液晶型バンドパス・光フィルターを用いた次世代人工保育器の開発	三浦雄一郎	周産母子センター	千円 2,000	補 平成20年度 若手研究者による臨床応用研究推進プログラム（東北大学病院） 委
表皮におけるヒアルロン酸合成の制御	大谷朋之	皮膚科	千円 2,340	補 文部科学大臣 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
p.53類似遺伝子p51/p63とMafによる表皮細胞の制御機構	奥山隆平	皮膚科	千円 2,080	補 文部科学大臣 委
マウス接触皮膚炎モデルでの炎症発症機序におけるASK-1の関与	相場節也	皮膚科	千円 2,340	補 文部科学大臣 委
ハプテンによる樹状細胞活性化のメカニズムの解析	水声政人	皮膚科	千円 2,210	補 文部科学省 委
新しい視機能予後予測システム構築に関する研究	國方彦志	眼科	千円 2,080	補 科学研究費 委
人工万能幹細胞を用いた角膜内皮・上皮細胞創生の研究	横倉 俊二	眼科	千円 2,730	補 科学研究費 委
異種動物由来材料およびフィーダー細胞を用いないウサギ培養角膜上皮シートの作製	久保田 亨	眼科	千円 1,755	補 科学研究費 委
角膜内皮再生治療法の開発	西田 幸二	眼科	千円 5,720	補 科学研究費 委
新規新生血管抑制薬と徐放デバイスの開発	西郷 陽子	眼科	千円 1,742	補 科学研究費 委
緑内障の神経保護治療の開発	中澤 徹	眼科	千円 1,170	補 科学研究費 委
聴性脳幹インプラントを用いた聴能再獲得に関する研究	小林俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 25,800	補 特別教育研究経費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
周波数変換帯域雑音音声を用いた人工内耳聴覚に関する基礎的研究	川瀬哲明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 900 千円	補 文部科学省科研費 基盤 (C)
外有毛細胞の音受容に関するアクチン関連蛋白と遺伝難聴DFNA20/26の研究	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,200 千円	補 文部科学省科研費 基盤 (C)
両側下丘への中脳インプラントに関する基礎的研究～聴覚再獲得を目指して～	日高浩史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 500 千円	補 文部科学省科研費 基盤 (C)
聴覚末梢器官への新しいドラッグデリバリー～ナノテクノロジーによる治療の可能性～	山内大輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,000 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (B)
前庭水管拡大症新規モデルの開発	宮崎浩充	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,550 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (B)
喉頭癌発生に関わる葉酸受容体の研究	渡邊健一	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 500 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (B)
ポストシークエンス時代における老人難聴研究の新戦略	工藤貴之	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 720 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (S)
培養耳管細胞を用いた耳管分泌機能の解明	大島猛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,300 千円	補 文部科学省科研費 基盤 (C)
内リンパ嚢における水吸収機能の解明	中谷和弘	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,500 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (B)
ナノテクノロジーと超音波を用いた高周波超音波三次元画像診断・分子導入システムの開発	志賀清人 (分担)	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 40,755 千円	補 厚生労働省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
気刺激とボツリヌストキシンの併用による神経調整的治療体系の確立	関 和則	医学系研究科・運動機能再建学	千円 6,890	補 委 文部科学省科学研究費
総合デジタル (ISDN) 方式を用いたテレパソロジー (遠隔病理診断) の実用化の検討	渡辺 みか	病理部	千円 527	補 委 石巻市立病院
遠隔病理診断装置の実用化	渡辺 みか	病理部	千円 1,113	補 委 気仙沼市立病院
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする、予後因子に関する免疫組織学的検討	渡辺 みか	病理部	千円 6,710	補 委 東北公済病院
プロテオミクス・メタボロミクス手法による生体内小分子の新規機能解析	眞野成康	薬剤部	千円 1,500	補 委 日本学術振興会 (基盤研究 (C))
胆汁酸シグナルのプロテオミクス	後藤順一	薬剤部	千円 8,000	補 委 日本学術振興会 (基盤研究 (B))
トランスポーター輸送のリアルタイムイメージング	山口浩明	薬剤部	千円 1,400	補 委 日本学術振興会 (若手研究 (B))

計77

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Shock Waves. 2008;17:449-455	Extracorporeal cardiac shock wave therapy for ischemic heart disease.	下川 宏明	循環器病態学分野
Antivirus Research	Procyanidins in Butanol extract of Cinnamon Cortex enhance Transferrin receptor expression and inhibit SARS-CoV infection	服部俊夫	感染症科
<i>Eur J Endocrinol</i>	Physiologic variance of corticotrophin affects diagnosis in adrenal vein sampling.	<u>Tanemoto M</u> , Suzuki T. Abe M, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
<i>Clin J Am Soc Nephrol</i>	Hemodynamic Index of Atheromatous Renal Artery Stenosis for Angioplasty.	<u>Tanemoto M</u> , Suzuki T. Abe M, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
<i>J Am Soc Nephrol</i> .	Hemoglobin Is Expressed by Mesangial Cells and Reduces Oxidant Stress.	Nishi H, Inagi R, Hideki Kato, <u>Tanemoto M</u> , Kojima I, Son D, Fujita T, and Nangaku M	腎高血圧内分泌科
<i>J Biol Chem</i> .	MAGI-1a functions as a scaffolding protein for the distal renal tubular basolateral K ⁺ channels.	<u>Tanemoto M</u> , Toyohara T, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
<i>Hypertens Res</i> .	Angiographic index for angioplasty-treatable atheromatous renal artery stenosis.	<u>Tanemoto M</u> , Abe M, Uruno A, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
<i>J Bone Miner Metab</i>	Hypocalcemia in a patient with severe hypertension and surgically induced relative hypoparathyroidism	<u>Tanemoto M</u> , Uruno A, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
Int. J. Hematol. 89: 332-341, 2008	Phase 1/2 clinical study of dasatinib in Japanese patients with chronic myeloid leukemia or Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia	石澤 賢一	血液免疫科
Int. J. Hematol. 89: 342-347, 2008	A retrospective analysis of bortezomib therapy for Japanese patients with relapsed or refractory multiple myeloma: $\beta 2$ -microglobulin associated with time to progression	大口 裕人	血液免疫科
Cancer Sci,100(1): 158-164, 2009	Japanese phase II study of 90Y-iburitumomab tiuxetan in patients with relapsed or refractory indolent B-cell lymphoma	石澤 賢一	血液免疫科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci, 100(2): 357-362, 2009	The safety and efficacy of rasburicase (SR29142) in a Japanese phase II study	石澤 賢一	血液免疫科
Atherosclerosis	Carotid arterial elasticity is a sensitive atherosclerosis value reflecting visceral fat accumulation in obese subjects.	鴫田 藍、石垣 泰、岡 芳知 他8名	分子代謝病態学分野
Obstetrics & Gynecology	Successful management of a leiomyomatosis peritonealis disseminata with aromatase inhibitor	Takeda, T. Masuhara, K. Kamiura, S	先進漢方治療医学講座
Journal of Alternative and Complementary Medicine	Effectiveness of the Herbal Medicine, Daikenchuto, for Radiation-Induced Enteritis	Takeda T, Kamiura S, Kimura T.	先進漢方治療医学講座
Gynecol Obstet Invest	Relationship between metabolic syndrome and uterine leiomyomata: a case-control study	Takeda, T. Sakata, M. Isobe, A. Miyake, A. Nishimoto, F. Ota, Y. Kamiura, S. Kimura, T.	先進漢方治療医学講座
Hum Reprod	Dual repressive effect of angiotensin II-type 1 receptor blocker telmisartan on angiotensin II-induced and estradiol-induced uterine leiomyoma cell proliferation	Isobe, S. Takeda, T. Sakata, M. Miyake, A. Yamamoto, T. Minekawa, R. Nishimoto, F. Okamoto, Y. Walker, L. Kimura, T.	先進漢方治療医学講座
Gynecol Endocrinol.	Elevated level of plasma vascular endothelial growth factor after gonadotropin-releasing hormone agonist treatment for leiomyomata	Takeda T, Osuga K, Miyake A, Wakabayashi A, Morishige K, Kimura T.	先進漢方治療医学講座
J Neurochem	DHA disrupts in vitro amyloid β 1-40 fibrillation and concomitantly inhibits amyloid levels in cerebral cortex tissue of Alzheimer's disease model rats.	Hashimoto M., Shahdat MH., Yamashita S., Katakura M., Tanabe Y., Fujiwara H., Gamoh S., Miyazawa T., Arai H., Shimada T., Shido O.	先進漢方治療医学講座
Circulation Journal	Short Cardiac Iodine-123-Metaiodobenzylguanidine Imaging Protocol in Heart Failure	Takanori Arimoto, Hiroyasu Sukekawa, Mutsuo Harada, Shin Takayama, Eiichiro Ikeno, Kouichi Nisugi, Yasuchika Takeishi and Isao Kubota	先進漢方治療医学講座
PACE	Electroanatomical Mapping in Partial Atrial Standstill for Visualization of Atrial Viability and a Suitable Pacing Site	TAKANORI ARIMOTO, M.D.*, HIROYASU SUKEKAWA, M.D.*, SHIN TAKAYAMA, M.D.*, EIICHIRO IKENO, M.D.*, YASUCHIKA TAKEISHI, M.D.†, and ISAO KUBOTA, M.D.	先進漢方治療医学講座
J. Physiol. Sci,	Changes in current detection threshold of three different frequencies of sine waves after compression-induced ischemia.	Hayashi Satoko, Uryu Noriko, <u>Watanabe Masashi</u> , Okada Kaoru, Kawakita Kenji	先進漢方治療医学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Clinical Oncology. 2009 Mar 20;27(9):1394-400. Epub 2009 Feb 17.	First-line Gefitinib for Advanced Non-Small Cell Lung Cancer Patients Harboring Epidermal Growth Factor Receptor Mutations without Indication for Chemotherapy.	Akira Inoue, et al.	呼吸器内科
Mol Cell Biol 28: 7380-93 (2008)	Rapid Recruitment of BRCA1 to DNA Double-Strand Breaks Is Dependent on Its Association with Ku80.	Wei, L., Lan, L., Hong, Z., Yasui, A., <u>Ishioka, C.</u> , <u>Chiba, N.</u>	腫瘍内科
Cancer Sci 99: 324-32 (2008)	Prediction of breast cancer prognosis by gene expression profile of TP53 status.	<u>Takahashi, S.</u> , Moriya, T., Ishida, T., Shibata, H., Sasano, H., Ohuchi, N., <u>Ishioka, C.</u>	腫瘍内科
Proc Natl Acad Sci U S A 105: 13993-8 (2008)	Apoptotic function of human PMS2 compromised by the nonsynonymous single-nucleotide polymorphic variant R20Q.	Marinovic-Terzic, I., Yoshioka-Yamashita, A., <u>Shimodaira, H.</u> , Avdievich, E., Hunton, I. C., Kolodner, R. D., Edelman, W., Wang, J. Y.	腫瘍内科
Cancer Chemother Pharmacol 64: 361-9 (2008)	Phase II study of capecitabine and trastuzumab combination chemotherapy in patients with HER2 overexpressing metastatic breast cancers resistant to both anthracyclines and taxanes.	Ishida, T., Kiba, T., Takeda, M., Matsuyama, K., Teramukai, S., Ishiwata, R., Masuda, N., Takatsuka, Y., Noguchi, S., <u>Ishioka, C.</u> , Fukushima, M., Ohuchi, N.	腫瘍内科
Cancer Biol Ther 7: (2008)	Analysis of p53 mutation status in human cancer cell lines: a paradigm for cell line cross-contamination.	Berglund, H., Pawitan, Y., Kato, S., <u>Ishioka, C.</u> , Soussi, T.	腫瘍内科
臨床放射線 53:499-500 (2008)	特集 PET癌イメージングの現在と今後の展開 はじめに.	阿部由直, <u>石岡千加史</u>	腫瘍内科
medicina 45:1398-1401 (2008)	日常診療の中でどこまで悪性疾患の診断にせまれるか?	角道祐一, 石岡千加史:	腫瘍内科
第105回日本内科学会雑誌 97:114 (2008)	第105回日本内科学会講演会シンポジウム 1がん診療最前線司会者のことば.	石岡千加史, 高後裕:	腫瘍内科
癌と化学療法 35:1044-1052 (2008)	大学腫瘍内科のあり方.	<u>石岡千加史</u> , 西條康夫, 佐々木康綱, 白尾國昭, 柳原一広, 矢野聖二, 吉岡孝志	腫瘍内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌と化学療法 35:1261-1268 (2008)	乳癌と分子マーカー	石岡千加史	腫瘍内科
癌と化学療法 35:1039-1043 (2008)	シンポジウム開催・参加記 大学腫瘍内科の在り方に関するシンポジウム.	石岡千加史	腫瘍内科
癌と化学療法 35:391-396 (2008)	がんプロフェッショナル養成プランによるがん専門医療者の育成.	石岡千加史	腫瘍内科
平成19年度大学教育改革支援プログラム合同フォーラム記録集 302-315 (2008)	がんプロフェッショナル養成プラン分科会	益田典幸, 中川和彦, 石岡千加史, 今井浩三, 本田麻由美, 平岡眞寛, 内布敦子, 三浦公嗣	腫瘍内科
癌と化学療法 35:2330-2333 (2008)	電解質異常とその対応 (高Ca血症と低Na血症).	柴田浩行	腫瘍内科
Transplantation	SV40 Infection Associated With Rituximab Treatment After Kindney Transplantation in Nonhuman Primates	Takashi Maki, Angela Carville, Isaac E. Stillman, Kanetoshi Sato, Tetsuro Kodaka, Keisuke Minamimura, Norihiko Ogawa, Akira Kanamoto, Rita Gottschalk, Anthony P. Monaco, Amanda Marr-Belvin, Susan V. Westmoreland, and Prabhat Sehgal	移植・再建・内視鏡外科
Breast Cancer	In vivo single molecular imaging and sentinel node navigation by nanotechnology for molecular targeting drug delivery systems and tailor-made medicine	Motohiro Takeda, Hiroshi Tada, Hideo Higuchi, Yoshio Kobayashi, Masaki Kobayashi, Yuu Sakurai, Takanori Ishida, Noriaki Ohuchi	移植・再建・内視鏡外科
消化器外科	肝細胞癌の治療戦略 肝細胞癌の外科治療 肝移植	川岸直樹, 中村篤司, 岩根尊, 武田郁央, 宮城重人, 佐藤和重, 赤松順寛, 関口悟, 里見進	移植・再建・内視鏡外科
Transplantation	ABO-Incompatible Living Donor Liver Transplantation: New Insights into Clinical Relevance	Naoki Kawagishi, Susumu Satomi	移植・再建・内視鏡外科
乳癌の臨床	マンモグラフィ検診の国際比較	大内憲明, 河合賢朗, 南優子	乳腺・内分泌外科